

下水道等事業会計決算

(1) 下水道等事業会計決算額

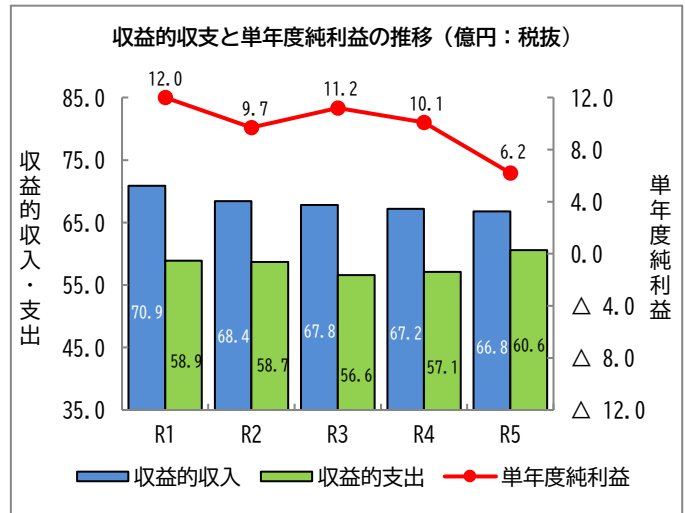
	収入決算額		支出決算額		差引額	(単位：億円)
収益的収支	66.8	－	60.6	=	6.2	【税抜】
資本的収支	15.5	－	34.1	=	△18.6	【税込】

(2) 収益的収支の状況

令和5年度の収益的収支の総収益は66.8億円で前年度に比べ0.4億円の減少となりました。これは、前年度の流域下水道負担金の還付額の減により過年度損益修正益が減少したことなどによるものです。

また、総費用は60.6億円で3.5億円の増加となりました。これは、支払利息及び企業債取扱諸費が減少したものの、流域下水道管理費が増加したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益6.2億円の黒字決算となりました。

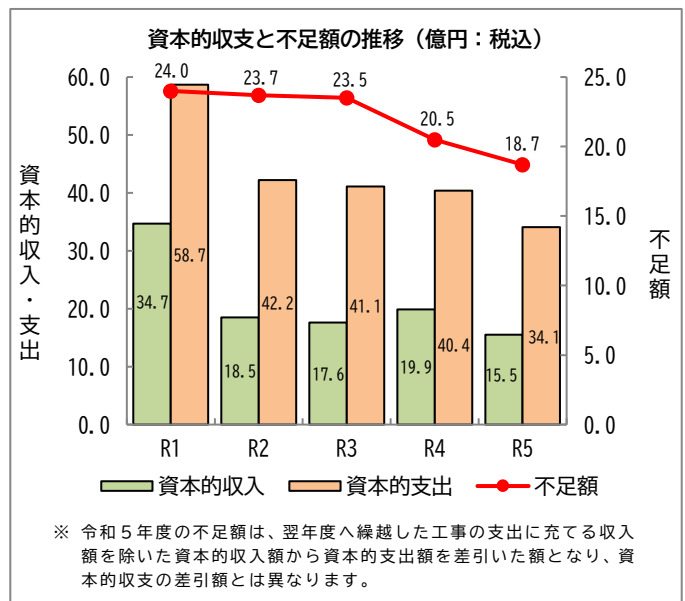


(3) 資本的収支の状況

令和5年度の資本的収支の収入は、令和6年度へ繰り越される支出の財源に充当する額0.1億円を含め15.5億円で前年度に比べ4.4億円の減少となりました。これは、企業債が減少したことなどによるものです。

また、支出は34.1億円で6.3億円の減少となりました。これは、建設改良費や企業債償還金が減少したことによるものです。

この結果、令和5年度の資本的収入から0.1億円を除いた額から資本的支出を差引いた資本的収支不足額が18.7億円となりました。この不足額は当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。



(4) 企業債残高の状況

令和5年度は企業債8.8億円を借入れ、19.0億円を償還したことにより、企業債残高は202.2億円となりました。

近年、償還額に対して借入額が少なくなっていることから、企業債残高は毎年度減少しています。

